

地域計画

策定年月日	令和6年8月21日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	南あわじ市 (28224)
地域名 (地域内農業集落名)	八木養宜中 (八木養宜中)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	19.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	18.5 ha
② 田の面積	17.5 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.9 ha
(参考)区域内における40才以上の農業者の農地面積の合計	19.0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	3.0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域においては、水稻と露地野菜の複合経営が中心であり、認定農業者も比較的多く、現在は耕作放棄田も少ない状況である。一方で、県指定の史跡で基盤整備ができない農地において今後は耕作放棄田が増加していくことが懸念されている。また中山間地域に指定されており、現在施工している基盤整備の法面も高く、草刈りに係る労力も大きいことから担い手の人員確保と機械化による省力化が必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地域においては、水稻、玉ねぎ、レタス、はくさいを慣行栽培による農業を行っており、水稻は個人経営で効率が悪い営農のため、今後は土地利用型農業の共同化やオペレーターの育成を進めていく。WCS用稲については、飼料作物と堆肥との交換による耕畜連携を進めている。
南あわじ市の特産物である玉ねぎ栽培は、段階的にスマート農業に切り替え省力化を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地域内の担い手にも一定数、規模拡大を考えている農家がいることから、離農又は規模縮小する農家に対して、まずは地域内の担い手に貸付けを優先的に行うよう周知を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	33.5	%	将来の目標とする集積率
			52.2 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
空き農地を貸し付ける場合は、隣接で耕作する農家に貸し付け、少しずつ集団化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組 毎年、地域計画の見直しを行う中で、地域内における規模拡大の意向のある農家リストを示して、地域内の担い手に農地を集積していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法 法改正に伴い、利用権設定されている農地の期間満了後からは農地中間管理機構に付け替える。
(3)基盤整備事業への取組 埋蔵文化財の指定以外は、現在 基盤整備事業を行っている。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組 他地域から計画的に就農希望者を確保できる体制を構築していき、新たな担い手の確保に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組 WCS用稲については地元の畜産農家のみならず、地域内でコントラクターを育成していき、生産面積を拡大させる。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携等	☒	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①ほ場整備工事時に山すそ側に獣害フェンスを設置しているが、門扉が設置できない市道からイノシシとシカが出入りしている状況であり、改善の必要がある。

②⑨WCS用稲の生産面積を拡大して飼料作物と堆肥との交換による耕畜連携を進めている。

③担い手における省力化及びコスト削減を図るため、積極的にスマート機械の導入を検討していく。

⑦複雑な用排水システムの管理について、ほ場整備工事を機に一元管理を図っている。

⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、出荷・調製施設を整備し、農業用施設の集約化を進める。

⑩農業用機械（土地利用型）の共同化やオペレーターの育成、WCS用稲のコントラクターの育成を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

[illegible]

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4. 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5.備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		野菜	1.5 ha	ha	野菜	1.7 ha	ha	1	
2	認農		野菜	2.3 ha	ha	野菜	2.3 ha	ha	2	
3	認農		野菜	1.2 ha	ha	野菜	1.2 ha	ha	3	
4	認農		水稲, 野菜	0.7 ha	ha	水稲, 野菜	0.7 ha	ha	4	
5	認農		野菜	0.7 ha	ha	野菜	0.9 ha	ha	5	
6	利用者		水稲, 野菜	1.0 ha	ha	水稲, 野菜	1.0 ha	ha	6	認農候補
7	利用者		水稲, 野菜	1.1 ha	ha	水稲, 野菜	1.1 ha	ha	7	認農候補
8	利用者		水稲, 野菜	1.0 ha	ha	水稲, 野菜	1.0 ha	ha	8	認農候補
9	利用者		水稲, 野菜	1.0 ha	ha	水稲, 野菜	1.0 ha	ha	A	
10	利用者		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.6 ha	ha	B	
11	利用者		水稲, 野菜	0.3 ha	ha	水稲, 野菜	0.3 ha	ha	C	
12	利用者		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	E	
13	利用者		野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	F	
14	利用者		水稲, 野菜	0.8 ha	ha	水稲, 野菜	0.8 ha	ha	H	
15	利用者		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	I	
16	利用者		野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	J	
17	利用者		水稲, 野菜	0.2 ha	ha	水稲, 野菜	0.2 ha	ha	K	
18	利用者		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	L	
19	利用者		水稲, 野菜	0.9 ha	ha	水稲, 野菜	0.9 ha	ha	M	
20	利用者		水稲, 野菜	0.5 ha	ha	水稲, 野菜	0.4 ha	ha	N	
21	利用者		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	O	
22	利用者		水稲, 野菜	0.9 ha	ha	水稲, 野菜	0.9 ha	ha	P	
23	利用者		野菜	0.9 ha	ha	野菜	0.9 ha	ha	Q	
24	利用者		野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	a	
25	利用者		野菜	0.0 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	b	
26	利用者		野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	c	
27	利用者		水稲, 野菜	0.1 ha	ha	水稲, 野菜	0.1 ha	ha	d	
28	利用者		水稲, 野菜	0.2 ha	ha	水稲, 野菜	0.2 ha	ha	e	
29	利用者		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	f	
30	利用者		野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	g	
31				ha	ha		ha	ha		
	計	0経営体		17.5 ha	0 ha		18.4 ha	0 ha		